

第11回福島県都市計画審議会都市政策推進専門小委員会

会議の概要

日 時：平成28年8月5日（金）10：00～

場 所：福島テルサ 3階大会議室 あぶくま

1. 開会

2. 議題

浜通りの都市計画区域マスタープランについて

- (1) 第10回小委員会の議事確認
- (2) 住民懇談会及び住民アンケートの結果報告
- (3) 都市計画区域マスタープランの見直しおよびフレーム設定について
- (4) 「市街化区域及び市街化調整区域に関する都市計画の見直しの基本的事項」について
- (5) 相馬・鹿島・原町・小高の各都市計画区域を対象とした都市計画区域再編・拡大について

3. 審議内容（浜通りの都市計画区域マスタープランについて）

○「住民懇談会の意見」や「アンケート調査結果」の取り扱いについての要望をいただいた。

《「住民懇談会」や「アンケート調査結果」について》

- ・アンケート結果の集計表やグラフも提示してほしい。事務局の判断・整理の根拠も見ないと、区域MPの議論に手戻りが生じる恐れがある。
(事務局回答)
⇒後日、アンケート調査結果（全体・属性別）のデータを各委員に送付する。
- ・アンケート結果は後日送付いただくものとし、それを確認した中で疑問があるという場合には、小委員会を再度開催するということも考えていきたい。
- ・住民懇談会やアンケート調査から得られた意見をどこまで活用していくのか。治安の悪化などについては、体感的な印象で統計的なデータと異なっている場合、今回の資料が証拠書類のように使われてしまうことが危惧される。
- ・治安に関するデータとしては、可能であれば震災前後で比較できると良い。また、直近のデータ上、犯罪件数は減少しているということであれば、治安に関する不安が指摘されたという表現に変更した方が良い。
- ・相双北の「中学生およびその両親」の回収率が低い理由を把握されていたらご教示いただきたい。

- ・相双北の住民懇談会に参加した感触としては、事務局の整理は、大きな齟齬は無いと思われる。地域差という面で、コミュニティに関しては、相双北では避難を余儀なくされた自治体と避難者を受け入れている自治体での捉え方が異なっていると感じられた。また、治安に関しては南相馬市の方からの意見であった。
- ・いわきの住民懇談会に参加した感触としては、一部、経済や企業といった意見など反映されていない部分も見られるので、都市計画に関する意見等を反映しているといった周知が必要である。また、新規住民や復興工事等による交通渋滞を懸念されていた。
- ・相双北については、都市計画区域の統合を考えているが、各市町・各都市計画区域で突出した傾向が見られた場合の取り扱いを考えていく必要がある。
- ・「震災後、新たに生じた課題」は？震災前には無かったという認識でよいか？
- ・住民懇談会では子育て支援という意見が挙がっていないようだが、参加者の年齢層は？

(事務局回答)

⇒各種団体等から参加を募っている関係もあり高齢の方が多くなっている。若い人からはアンケート調査により意見を吸い上げていくことで対応している。

《都市計画区域MPについて》

- ・コミュニティの再生という表現について、いわき市ではコミュニティがそれほど壊れてはおらず、避難指示区域、帰還困難区域を有する市町村とはコミュニティに対する課題が異なると考えられる。
- ・都市計画区域マスタープランの「2 都市計画の目標」の「1) 都市の現状と課題」への追加項目について、復興の動きのみを記載し、震災の被害はもう記載しなくてもいいのではないかと？

《基本的事項について》

- ・「8. 市街化区域の編入基準」について、復興事業に関する記載を追加した方がいいのではないかと？復興事業により無秩序な市街化を助長することにならないかと懸念される。

4. 今後の進め方

- ・アンケート結果を見た上で各委員から意見等を出していただければ、委員長と事務局とで整理し、素案への反映方針について次回の小委員会にて提案させていただきたい。

5. その他

(1) 第10回小委員会の議事確認

(2) 相馬・鹿島・原町・小高の各都市計画区域を対象とした都市計画区域再編・拡大方針

○上記についてそれぞれ説明を行い、意見・質問はなかった。

以 上